

□「全国中学校理科教育研究会・京都大会」へブースを出展

当協会は、京都市で開催された「全国中学校理科教育研究会(以下、全中理)京都大会」にブースを出展し、放射線や原子力に関連する情報、放射線分野の授業の進め方に関する情報等を提供しました。本大会へのブース出展は、前回の札幌大会に引き続き2回目となります。

本大会は全国の理科教員を対象に毎年夏休みの時期に開催されています。今年は京都市にある京都市勧業館「みやこめっせ」等の会場にて、8月4日(水)～6日(金)の3日間にわたって開催されました。参加教員数は約900名で、会場では特別講演や学術講演、分科会などが実施されました。この大会では講演や分科会のほか、別スペースでは、授業で用いる実験用キットや副読本のPR活動を各業者・法人等がブースを出展して行いました。

当協会のブースでは、放射線や原子力発電の基礎について纏めたパンフレット及びサンプル授業のDVD(偉人たちとの授業、活躍する放射線(電気事業連合会提供))の配布により原子力・放射線教育に関する資料や情報を提供しました。

ブース訪問の先生方からは

- ・「放射線の授業は中学3年生の後半に実施するため、受験期間と重複する。新学習指導要領の移行期間中に(受験と関係のない)新項目を取り入れる先生は少ないのではないかと思います。」
- ・「放射線については詳しくないので、(電気事業連合会が提供しているDVDのように)学習指導案と教材をセットで具体的に提案してくれる教材は助かる。」
- ・「理科の先生は、放射線・原子力について概ね否定的な意識を持っていない。放射線教育普及のためには、むしろ社会の先生に正しい知識を持ってもらうことが重要ではないか？」等の声をいただきました。

来年度は山形での本大会開催が決定されています。当協会では京都大会の経験を元に、提供する情報の内容や数量、必要とする支援の内容を検討し、放射線教育に関する更なる支援体制の確立を図っていく予定です。



当協会ブースの様子